

# 平成 30 年度 研究計画書

## Research Plan FY2018

講座名・職名 Course Title・Job Title	アジアⅡ講座 講師
氏名 Name	大塚行誠
専門分野 Academic Field	言語学

### 平成 30 年度 研究計画 (ホームページで公開) Research Plan FY2018 (Post on Website)

主たる研究テーマ Principal Research Subject	ミャンマーおよび印緬国境地帯における少数言語の基礎調査				
<p>研究計画 (400 字~500 字で記入すること。) Research Plan (Approximately 100 Words)</p> <p>現在, ミャンマー連邦共和国およびミャンマー・インド国境地帯には多様な少数言語が分布している。本研究の目的は, そうした言語のうち, 特に研究蓄積が乏しいチン語支の諸言語を対象としてフィールドワークを行いながら, これらの基礎資料 (語彙資料・音声資料・文法スケッチ) を作成し, 公開していくことである。</p> <p>ミャンマー北西部は, 近年の民主化により入域可能な地域が広がり, 各種インフラも急速に整備されつつある為, 一部地帯を除けば, 以前よりもフィールドワークがしやすい状況になっていると言えよう。2011年まではチン州やその周辺地域に外国人が入ることは大変難しかったため, チン語支に関する詳しい調査は出来なかった。しかし, 最近ではチン語支の言語を調査する環境が整いつつあることから, この数年間ではチン語支諸言語における基本的な文法の記述を重点的に行うつもりである。</p> <p>今年度は, 大学におけるビルマ語教材の開発などビルマ語教育面に力を注ぐ一方, チン語支のボム語 (Bawm), ラルテー語 (Ralte), アショー・チン語 (Asho Chin) などに調査の対象を絞り, ミャンマーおよびミャンマー・インド国境地帯で文法調査や言語資料収集などの活動を行う予定である。一方, 国内では, 上記言語の基礎語彙リストの編纂作業を続け, 各言語で特徴的に見られる文法現象について発表していく予定である。</p>					
共同研究可能な分野 Research Fields feasible for joint research *1					
キーワード Keywords*2	ミャンマー	インド	ビルマ語	チン語支	記述言語学